

# ミライのカタチ

この町に暮らす人たちの魅力である『温かさ』を大切にしていきたい。

白鷹町立白鷹中学校

教諭

長谷部

稚奈さん（高玉在住）



この町で素敵な「未来」を描く方をご紹介します。



小さい頃から、とにかく絵を描くのが好きだったという長谷部さん。絵に関わる仕事を地元で行いたいと思った時に、「教員になって、自分が小さい頃から好きな美術を、子どもたちにも広めたい」という考えから、教員になることを決心し、今に至ります。「私の家族には教員はいませんし、はじめから教員になりたいと考えていたわけではありません。でも、今振り返ってみると、学生時代に素敵な先生方に巡り合えたからこそ、教員になるという選択肢が自分の中に生まれたのだと思います」と語る長谷部さん。

中学校の教員になって、生徒との向き合い方に難しさを感じるころがあるそうです。「中学生という時期は、自分の中でやりたいことがいろいろと見えてくる時期です。しかし、未熟な部分もまだ多い生徒たちは、上手くいかずにつまづくことがあったり、素直に伝えられないこともあります。そういった場面で、どう接してあげべきなのか非常に悩みますね。私

何事にも全力な生徒たちがとにかくかわいいです！



がいつも心がけていることは、どんな生徒とも、1対1で真剣に向き合い、何かをやり遂げるための手助けをしつかりしてあげることです」と、生徒に常に寄り添う思いを話してくれました。

また、子どもたちには「人の温もり」を大切にして欲しいと言います。「この町の人たちは、本当に温かく、それがこの町の良さでもあると思います。町や社会はどんどん発展していきますが、『人の温もり』というものは、なくさないように守り続けなければならぬと思うんです」と、この町の良さを次世代につなげたい思いも語ってくれました。